

2023年6月11日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第66巻第10号(通算3342号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

教会創立64周年記念礼拝・花の日こどもの日礼拝

聖霊降臨節 第3主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏 黙祷

招きの詞 詩編

133編 1b-3節

賛美歌 21-8番 「心の底より」(©教団讃美歌委員会)

お祈り

賛美歌 「埋もれた宝」

聖書 使徒言行録

2章 37-47節

賛美歌 21-342番 「神の霊よ、今くだり」(©教団讃美歌委員会)

メッセージ 「捕まって自由となる」

水谷 憲 牧師

賛美歌 21-448番 「お招きに応えました」(©JASRAC)

主の祈り 62番 「天にいます わたしたちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

献げ物 (*)

派遣 21-91番 「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

水谷 憲 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

1^b 兄弟が共に ^a住むことは

何という幸せ、何という麗うるわしさ。

2 頭の上に注がれたかぐわしい油のようだ。

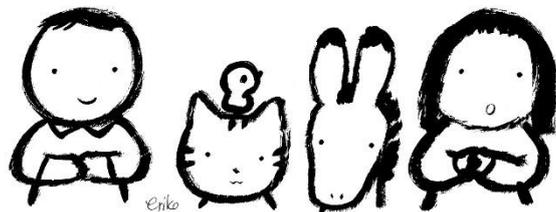
それは、ひげにしたた滴り落ちる。

衣の襟えりにまで垂れるアロンのひげに。

3 ヘルモンの露つゆのようだ。／

それはシオンの山々に滴り落ちる。

主はそこで祝福ととこしえに及ぶ命を定められた。



(脚注 a : 別訳「座すのは」)

聖書 使徒言行録 2 章 37-47 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

37 人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロと他の使徒たちに、「兄弟たち、私たちは何をすべきでしょうか」と言った。38 そこで、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼(バプテスマ)を受け、罪を赦ゆるしていただきなさい。そうすれば、聖霊せいれいの賜物たまものを受けましょう。39 この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子どもたちにも、また、遠くにいるすべての人にも、つまり、私たちの神である主が招いてくださる者なら誰にでも、与えられているものなのです。」40 ペトロは、このほかにも多くの言葉で証あかしをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と言って彼らを励ました。

41 ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼(バプテスマ)を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。42 そして、一同はひたすら、使徒たちの教えを守り、交わりをなし、パンを裂さき、祈りをしていた。

43 すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業わざとするしが行われていたのである。44 信じた者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、45 財産や持ち物を売っては、必要に応じて、皆がそれを分け合った。46 そして、毎日ひたすら心をつつにして神殿に集まり、家ではパンを裂さき、喜びと真心まごころをもって食事を共にし、47 神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加えてくださったのである。



《先週のメッセージより》6月4日

「誰と出会うか」より

牛田匡牧師

聖書 使徒言行録 2章 22-36節

今回のお話は、聖霊が弟子たちに降った「ペンテコステ（聖霊降臨）」の話の続きです。弟子たちは、当初「お前たちも、あの十字架で処刑された犯罪者、ナザレのイエスの仲間だろう」と言って、町の人々から差別されたり、イジメられたりしないかと怯えて、隠れるように過ごしていた所から、聖霊によって力付けられたことで、一転して自分から外の人たちに向かって語りかけ始めました。ペトロは「あの十字架で処刑されたナザレのイエスこそ、救い主、キリストである」（36）と宣言しましたが、これらの一連の言葉は、道行く人々に語りかけつつ、同時に彼自身に対して語った言葉としても読めるかと思えます。彼は「あなたがたが十字架につけたあのイエス」と言いながら、自分自身のことも振り返ったに違いありません。なぜなら彼はイエス様が反対者たちに捕まえられる前に、「たとえ、ご一緒に死なねばならなくなっても、あなたを知らないなどとは決して申しません」（マタイ 26：35）と言いつつも、実際には自分が問い詰められ、身の危険を感じると、呪いの言葉さえ口にしながら「そんな人は知らない」と3度もイエス様のことを知らないと言ったからです。また、イエス様が十字架に架けられた時には、逃げ出していました。ですからペトロ自身も「私もイエス様を十字架につけた一人」だったのでしょう。

けれども神はそんなイエス様を死から引き起こし、復活させられました。イエス様は殺され、死んで、いなくなってしまったのではない。今も確かに生きておられて、私と共にいてくださっている。ペトロはそう確信していたからこそ、力強く語る事が出来ました。イエス様と出会った事で、ペトロは漁師を辞めて、イエス様に従いました。あの時、あの場所で、もしもイエス様と出会っていなかったらどうだったでしょう。ペトロや他の弟子たちだけに限らず、私たち一人一人がそうです。うまくいったことだけではなく、うまくいかなかったことや、困難も失敗も含めて、様々な出会いがあってこそ今があります。またこれからの新しい出会いを通して、これまでの思い出したくないような過去の出来事とも、新しく出会っていくこともきっとあるのだろうと思えます。「誰と出会うか」。様々な出会いによって、私たちは生かされ、導かれ、そして磨かれていきます。まだ私たちの出会っていない方々が大勢おられます。今も生きておられる復活のイエス様は、今どこにおられ、誰と共におられるのか。これからの日々も、多くの出会いに恵まれて行きたいと願います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (6月4日)

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円
 中継動画再生数10回 感謝



◎次週 2023年6月18日(日)

招きの詞 申命記 8章 11節
 聖書 ルカによる福音書 8章 40-56節
 メッセージ「信頼をもって歩みを起こす」牛田匡牧師
 賛美歌 21-524 (©P.D.)、21-451 (©教団讃美歌委)、21-454 (©教団讃美歌委)
 久宝教会の隣の八尾教会にて、14時より池田優希牧師の主任担任教師就任式があります。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症は、「季節性インフルエンザ」などと同じ感染症の分類になりました。しかし、ウイルス自体が無くなったわけではありませんので、それぞれの方の体調等に合わせて、引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・78年前に沖縄での組織的戦闘が終結した6月23日を「慰霊の日」として覚え、次週6月18日(日)15時~16時半にかけて、東梅田教会にて大阪教区「沖縄交流・連帯委員会」主催の「第13回 慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い」が開催されます。講師は高良沙哉さん(沖縄大学教授)で、参加費は無料です(沖縄教区互助献金として会場にてカンパを集めます)。事前申込も不要ですので、当日直接会場に足をお運びください。
- ・「慰霊の日」6月23日(金)には、大阪市北区民センター(扇町駅・天満駅下車徒歩3分・北区役所隣)にて、「沖縄と共に戦争に反対する6・23平和の集い~軍隊は民衆を守らない~」が開催されます。講師は前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)で「島々を戦場にさせない」という講演の他、沖縄からのビデオメッセージもあります。参加費は資料代として500円ですが、金銭的に厳しい方は応相談です。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/18	牛田牧師	(14時~八尾教会就任式)
6/25	岡嶋伝道師	誕生者祝福式 おにぎり支援
7/2	牛田牧師	ユウカリスト 教会を考える会
7/9	水谷牧師	部落解放祈りの日 14時~ 服部墓地墓前礼拝

第13回 慰霊の日に思いを馳せ、沖縄とつらなる集い

「戦争ではなく、平和を」~憲法を生かした外交を求めて~

今年の6月23日は沖縄戦の組織的戦闘が終結して78年を迎えます。この日沖縄では、奇襲な地上戦で亡くなった20万人を超える人々の命を覚えて島中が祈りに包まれます。沖縄の人々がどのよう
 な思いこの日をお過ごしおられるのか、わたしたちはちゃんと知っているでしょうか。「あらゆる地獄
 があった」といわれる想像を絶する悲しみを沖縄の人々は忘れてはいません。二度と繰り返さ
 なければならない戦争。不戦の誓い。基地のない平和な沖縄を。沖縄の人々がそのように祈らねばなら
 ない原因はわたしたちにあります。沖縄に地上戦を押し付け、戦後も、「復帰」後も、米軍基地を沖
 縄に押し付け、沖縄を「捨て石」にしてきたわたしたちです。更に今現在、日本政府は「台湾有事」を煽
 り、急ピッチで琉球弧の島々の軍事要塞化を進めています。昨年12月16日に閣議決定された安全保
 障関連三書改訂は、改善が必要になるほどの重大な政策転換であるにもかかわらず国会の徹底
 的審議もいままに決められました。そこに記される「敵基地攻撃能力」というものは、有事となれば
 琉球弧の島々に生きる人々の命を危険に晒すでしょう。講師としてお招きする高良沙哉さんは「日本
 は軍事力を持たない」と明記した憲法を持っています。対立を煽るのではなく、憲法を生かし、日本の
 非軍事的な存在意義を他の国々に示す外交をしていべきです。」と語っておられます。沖縄の島々
 の自衛隊配備、昨今の軍事強化の影響をふまえ、わたしたちがなすべきことを教えられたいと思いま
 す。

講師 高良沙哉さん(沖縄大学教授)

那覇市出身。北九州市立大学大学院卒、沖縄大学人文学部教授。専門分野は憲法学、改憲、米軍基地、自衛隊配備、ヘイトクライム、性暴力問題などに取り組む。著書『ヘイトクライムと植民地主義』(共著)、『ピンポイントでわかる自衛隊明文改憲の論点』(共著)、『「慰安婦」問題と戦時性暴力軍隊による性暴力の責任を問う』



**日時 2023年6月18日(日)
 午後3時~4時30分
 場所 日本基督教団 東梅田教会**

- ・米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会の方に状況報告をしていただきます。
- ・参加費無料
(沖縄教区互助献金として会場にてカンパを集めます)
- ・天候等の理由で沖縄~大阪間の飛行機が欠航の場合中止となります。配付での開催はございません。
- ・すべてのお問い合わせは会場教会ではなく、070-5345-7378までお願いします。(大阪昭和教会 森口)



主催 大阪教区 沖縄交流・連帯特別委員会